

吉川レポート

発行者：吉川まちづくり自治協議会 吉川地域センター
 ☎082-429-1879(吉川地域センター)
 開館時間(原則)月～金：8時30分～12時(利用がある場合を除く)
 センター：yoshikawa-k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp
 自治協：yoshikawajitikyo@outlook.jp

産業団地構想を見極め、まちづくりを考える

4月6日、吉川活性化PJT活動の報告会を開催

吉川地域活性化プロジェクトチーム会議(PJT)は、4月6日吉川地域センターにおいて住民23名とPJT関係者の参加で報告会を開催しました。

PJTは、「里山環境を残し、自然環境と人の営みの共存」をコンセプトに“よしかわビジョン”を創造することとし、具体的には、①どのようなまちづくりを目指すのか、②住宅地促進策の検討＝どのようにすれば住居が持てるのか、③移住促進策の検討＝新たな住民を呼び寄せることができるのかをテーマに、2019年2月に東広島市役所からの参加をいただきスタートし検討してきました。

その間吉川地域は人口900名を割り込み、分家住宅を中心とした世帯数増も反転し減傾向となっています。

これは、吉川地域が市街化調整区域にあり、土地区画整理事業を実施した農地であり、農転申請条件が限定される第1種農地となっていることから、新たな宅地化が難しい地域にあります。更に第1種農地に接する農地も「一団の農地」とみなされ規制される地域にあります。

こうした中でPJTの考えに沿った宅地化ができないかこれまで検討してきました。現在は東広島市が指定することで宅地化が可能となる「優良田園住宅制度」実現への取組みを進めています。これを一步として移住定住を促進し人口減を防ぐことを目指しています。



市が進める新産業団地整備構想をどう取り込むか

検討の過程で2月7日、「次世代学園都市構想と新産業団地整備構想」を東広島市が発表。このことが吉川地域に大きな影響を及ぼすことは必至であると判断できることから、この報告会で市の担当部門が説明しました。

市の構想と吉川地域のまちづくり構想との連動化

その後意見交換を行いました。産業団地整備構想の具体的エリア、地域の子育て政策、これからの吉川をどう創るのか等の意見が出されました。

最後に、市の動き・マイクロン社の動きをきちんと把握し、これを地元の発展に結び付ける、この立場で市とも協働して取り組んでいくこととしました。

<今月の句>

春愁や言葉を選ぶ一筆箋 明美
 青空にきりりと桜三分咲き 孝子

吉川まちづくり自治協議会 令和6年度通常総会 吉川地区自主防災会 第7回通常総会 開催案内

1. 日時：令和6年5月19日(日)午後1時～
2. 場所：吉川地域センター
3. 出席：会員、理事会役員、監事
4. 議題：

第1号議案：令和5年度事業報告/決算報告/監査報告
 第2号議案：令和6年度事業計画(案)/収支予算(案)
 第3号議案：令和6年度吉川地区自主防災会議案
 令和6年4月28日

吉川まちづくり自治協議会
 会長 村主 武彦

追記：議案書・書面表決書等は、4月30日より会員の皆さまに配布します。【令和5年度総会の模様】



令和6年度の事業計画骨子などを協議

3月30日、第3回全役員会議を開催

吉川まちづくり自治協議会は、3月30日第3回全役員会(地区責任者、理事会役員で構成)を3月30日24名(定員28名)が出席し開催しました。

会議では、令和6年度の事業計画と予算の骨子と通常総会の開催日などの確認を行いました。その結果、総会を5月19日に開催、6年度事業計画等をまとめた議案書を4月27日の理事会で決定することとしました。

この中で、財産区から地域福祉向上の取り組みに対し、補助金を受領してきたことで意見交換しました。

財産区の財政運営も厳しい状況が生まれていること

に対して、住民自治協は少子高齢化の中でこれまで通りのイベント開催が難しくなっている現状を踏まえ、同補助金を住民福祉に有効に役立てることを検討する時期であるとの認識が示されました。その結果令和6年度の中で組織内協議をすることとしました。



＜吉川地域センター4月のロビー展＞



↑書道教室の皆さんの作品

初夏



↑書：二宮真知子



↑俳句教室の皆さんの作品

主催講座 英会話教室始まる

令和6年度の主催講座とした英会話教室を、第1回を4月6日開催しました。



教室は、7月までの4回コースで行われ、講師には広島大学の短期留学生

で USA 生まれ、ニュージーランド育ちのアレックスさんが担当します。



1回目の講座には6名が参加し、まずは紛らわしい発音を講師のリードで発声。続いて単語1つで伝わる言葉を発声し理解していきました。これからの教室では、2つ3つ4つの単語をつなげることで伝わる言葉を毎回練習していくこととしています。

吉川長寿会が総会を開催



吉川長寿会（会員46名）の総会が4月14日に開催されました。

総会には役員会員14名が参加。委任状28名の出席があり総会は成立。村会長あいさつ、事務局からの報告と活動計画が提案された後役員を選任を行い、いずれも賛成多数で可決承認されました。総会では会員数が低く止まりとなっている現状から、会員数の増加対策・主催イベントへの参加の呼びかけなどを通じて会の活動を盛り上げる手立てが主要なテーマとなっていました。総会は特段の意見もなく30分で終了しました。

地域の排水路作業を実施

4月7日、吉川地域では年度最初の「道路・河川維持作業」を実施しました。



各地区毎に集まり作業を開始。今回は排水路を中心に作業を行い、排水路にたまった泥などをすくい上げ土嚢袋に入れていきました。作業は午前中で終了しました。土嚢袋は市の方で回収して頂きました。

今回の作業には232人が従事しました。

吉川史跡保存会例会を開催

吉川史跡保存会は、4月5日第35回の勉強会を16名が参加し開催。今回のテーマは「どのような経緯で西福寺が禅宗から浄土真宗に改宗したか」を学びました。前回の会で槌山城の合戦(1552年)の後、この地域が毛利氏の支配におかれたところを学びました。

毛利氏は浄土真宗との関係が深まり、その影響が改宗の背景にあったのではと推測。石山本願寺(大阪城付近)に兵糧を搬入した史実。関ヶ原の戦いの後、広島を統治した大名の保



護もあり、安芸門徒が定着していく歴史を学びました。

＜吉川まちづくり自治協議会予定表＞

- 5月7日：第1回野菜講座
- 5月10日：小学校学校運営協議会
- 5月11日：第2回英会話教室
- 5月19日：令和6年度通常総会、第1回理事会
- 5月24日：吉川の学びを創る会
- 5月24日：事務職員第1回全体集会（市）
- 5月30日：第1回健康講座（市）：市等主催行事

令和6年5月 吉川地域センター 講座他予定表

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1 ｸﾗﾌﾞ教室	2 げんき塾	3	4 体育振興会 空手
5	6 まちづくり 女性部総会	7 健康体操 野菜づくり 講座	8 琴の会	9 げんき塾 ヨガ教室	10 着物リフォーム 史跡保存会 ｶﾗｲﾞ教室	11 英会話教室 空手
12	13 俳句教室 書道教室 英語ﾚｯｽﾝ	14 健康体操 編物教室	15 三絃の会	16 げんき塾 ヨガ教室	17 着物リフォーム	18 総会準備
19 総会 1回理事会	20 ﾊﾞﾝｼﾞｮｰﾙ 大正琴	21 健康体操	22 琴の会	23 げんき塾 ヨガ教室	24 着物リフォーム ｶﾗｲﾞ教室 ののはなの会	25 農地水総会 空手
26	27 大正琴 書道教室	28 健康体操 編物教室	29	30 げんき塾 ヨガ教室	31 着物リフォーム	

“吉川レポート”に関するお問い合わせは、
吉川まちづくり自治協議会にご連絡下さい。

東広島市市民活動情報サイト「すきかも」もご覧ください
<https://www.higashihiroshima.sukikamo.jp/>



日頃から発災に備えた話し合いを！
発災時を想定し、日頃から家族で避難先などを話合っておきましょう。